

# もくじ

## ■はじめに 情報を調べるには.....2

### 巻頭特集1

## 国連ファミリー基礎知識チェック.....8

### 巻頭特集2

## 国連を取りまく世界の動き.....10

## 国連国際年で見える国連の50年とSDGs.....14

5ページに記した、この本の目的により、パート2以降には、各機関に関するSDGsの目標のロゴマークを配置した（すべての機関がかかわる目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」は各ページでは省略）。



※「SDGsの17個の目標は、どれか1つを達成しようとしても、ほかの目標を同時に達成しないと、その1つも達成できない（→p55）」ため、関係する目標がほかにもある場合もある。

## パート1 国連基礎のきそ.....15

### 1 国際連合とは？.....16

### 国連憲章を見てみよう！.....18

### 2 国連の6つの主要機関.....19

### 国連平和維持活動(PKO)ってどういうこと...24

### 3 いろいろな国連ファミリー.....26

### 国連と日本.....28

## パート2 平和や人権にかかわる国連ファミリー.....29

### 国際司法裁判所(ICJ).....30

### ジェノサイドって、何？.....32

### 国際刑事裁判所(ICC).....34

### 国際海洋法裁判所(ITLOS).....36

### 犯罪防止にかかわる3つの機関.....37

### 国際原子力機関(IAEA).....38

### 平和にかかわる8つの国連ファミリー...40

### 国連難民高等弁務官事務所(UNHCR).....42

### 国連人間居住計画(国連ハビタット).....44

### (UN-Habitat).....44

### 国連人権高等弁務官事務所(OHCHR).....46

### .....46

### 国連人権理事会(UNHRC).....48

### 国連パレスチナ難民救済事業機関(UNRWA).....49

### .....49

### 国際労働機関(ILO).....50

### 多くの国連ファミリーができた背景.....51

## ■国連および国連ファミリーとSDGs.....52

## パート3 健康と保健にかかわる国連ファミリー.....57

### 世界保健機関(WHO).....58

### 国連児童基金(ユニセフ)(UNICEF).....60

### 国連人口基金(UNFPA).....62

### 国連食糧農業機関(FAO).....64

### 国連世界食糧計画(WFP).....66

### 国際農業開発基金(IFAD).....67

### 健康にかかわる2つの国連ファミリー...68



ダミー

## パート4 開発と経済にかかわる国連ファミリー.....69

### 世界銀行グループ World Bank Group.....70

### .....70

### 地域経済委員会.....72

### 国際通貨基金(IMF).....74

### 世界貿易機関(WTO).....74

### 国連開発計画(UNDP).....76

### 国連貿易開発会議(UNCTAD).....78

### 国連工業開発機関(UNIDO).....79

### 国際海事機関(IMO).....80

### 国際民間航空機関(ICAO).....81

### 国際電気通信連合(ITU).....82

### 万国郵便連合(UPU).....83

### 世界知的所有権機関(WIPO).....84

### 国際移住機関(IOM).....85

### 国連プロジェクトサービス機関(UNOPS).....85

### まだまだある 経済開発にかかわる

### 国連ファミリー.....86



ダミー

## パート5 地球環境にかかわる国連ファミリー.....87

### 国連環境計画(UNEP).....88

### 世界気象機関(WMO).....90

### 気候変動に関する政府間パネル(IPCC).....91

### .....91

### 持続可能な開発委員会(CSD).....92

### まだまだある 地球環境にかかわる

### 国連ファミリー.....93

### 国連教育科学文化機関(ユネスコ)

### (UNESCO).....94

### 国連大学.....95

# 「国連憲章」を見てみよう!

「国連憲章」は、国連の目的・組織・活動を定めた憲法のようなものです。前文と全19章、111条から成り立っていて、とくに、前文には、将来、子どもたちが悲惨な戦争の被害にあわないようにしようという決意が力強くうたわれています。

## 「国連憲章」の前文の概要

「国連憲章」は、前文で「わたしたちは一生のうちに2度も、大きな戦争を経験し、言葉にあらわせないほどの悲しみを味わった。そこで、わたしたち連合国の人民は、次のようなことを決意した」とうたい、下のようなことを明記し、最後に「これらの目的を実現させるために、わたしたちはおたがいの力を合わせることを決意し、わたしたちは、ここに国際連合をもうけることにした」と記している。

これから生まれてくる子どもたちが、このような戦争の被害にあわないようにする。

人は男性も女性もみな尊く、基本的人権をもち、それぞれにかけがえのない価値をもっていることをみとめる。

人も大小にかかわらず、平等に権利をもっているということを見とめる。

人が正しいと思うことや、国どうしが約束したことを尊重する。

おたがいにゆるしい、平和に暮らし、世界の平和と安全を守るために力を合わせる。

みなが自由に生きることができ、よりよい生活ができるようにする

おたがいのためになるとき以外は、武力を用いないよう、ルールを定める。

すべての人びとがゆたかな生活を送り、よりよい社会に生きることができるよう、国際組織を利用する。

# 2 国連の6つの主要機関

「国連憲章」の規定により、国連には「総会」「安全保障理事会」「経済社会理事会」「信託統治理事会」「国際司法裁判所」「事務局」の6つがもうけられています。

## 全体像を理解しよう

国連には、主に次の4つの目的がある。

- ① 国際の平和と安全を維持すること。
- ② 国家間の友好関係を育てること。
- ③ 国際問題の解決と人権尊重の促進に協力すること。
- ④ これらの目標を達成すべく、各国の行動を調和させるために中心的役割を果たすこと。

こうした目的達成のために、国連は下の6つの重要な機関を通じてさまざまな活動をおこなっている。ただし「信託統治理事会」は、国連ができた当時は重要な役割を果たしていたが、現在は活動していない。

<b>① 総会</b> <small>チェネラリアセンブリ</small> <b>(General Assembly)</b>	国連を代表する機関。すべての加盟国の代表が参加して世界のさまざまな問題について話しあう。議決方法は各国が1票で、多数決で決める。
<b>② 安全保障理事会</b> <small>スイキュリティ カウンシル</small> <b>(Security Council)</b>	5つの常任理事国と10の非常任理事国（総会で3分の2以上の賛成で選ばれる）で構成されている。世界の平和と安全を守ることを目的に、国際紛争を調査したり、解決をうながしたり、軍事行動を起こしたりできる。決議は、理事国のうち9か国の賛成で決める。ただし、常任理事国のうち、1か国でも反対すれば、否決される（拒否権→p21）。
<b>③ 経済社会理事会</b> <small>エコノミック アンド ソシャル カウンシル</small> <b>(Economic and Social Council)</b>	54の理事国からなる巨大な組織。任期は3年。毎年、18か国ずつ改選される。いろいろな国連ファミリー（→p26）と連携しながら世界の経済や社会にかかわるさまざまな問題の解決にあたる。
<b>④ 信託統治理事会</b> <small>トラスティーシップ カウンシル</small> <b>(Trusteeship Council)</b>	現在は活動を中止している。
<b>⑤ 国際司法裁判所</b> <small>インタナショナル コート オフ ジャスティス</small> <b>(International Court of Justice)</b>	国籍のことなる15人の裁判官（任期は9年、5人ずつ3年ごとに改選される）が、世界の国々への争いごとを判断する。当事者になれるのは国だけ（→p30）。
<b>⑥ 事務局</b> <small>セクレタリエット</small> <b>(Secretariat)</b>	事務総長と職員による組織。国連機関の計画や政策を実行するなど、その役割は多い。事務総長は、安全保障理事会の勧告を受けて国連総会が任命する。任期は5年。

これら6つの機関、とくに経済社会理事会は、ゆる業務をおこなっている。こうしたさまざまな機関全体が「国連ファミリー」だ（→p26）。  
 これら6つの機関、とくに経済社会理事会は、関連する専門機関（15個）と数多くの基金、計画、その他の各種機関などと連携しながらあら

# 国連および国連ファミリーとSDGs

エスディーゼーエス  
SDGsを知るには、国連を調べることが重要！

**最近** 学校でも、SDGsの学習がさかんになっています。でも、みんなのなかには、「SDGsって、よくわからない」「むずかしい」と思っている人がいるのではないですか。ぼくは、そう思う人がいてもしかたないと思っていますよ。その理由は2つ。1つは、SDGsについてわかりやすく解説されていないからです。下の3つの文は、SDGsの目標を記したのですが、みんながわからないというのは無理ありません。

**目標2** 飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する。

**目標5** ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る。

**目標8** すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を推進する。

これらは、2015年の国連で決定されたSDGsの17の目標を、外務省が仮に訳したもののうちの3つです。大人でもわからない言葉で書かれています。それをそのまましめされたら、みんなもどうしてよいか困りますね。でも、先生も困っていますよ。文部科学省は2020年度から学校でSDGsをあつかうようにしましたが、それをどう指導するかはしめていません。先生方は一生懸命勉強して、なんとかみんながわかるように教えようとしています。でも、とても苦労が大きいといえます。

もう1つの理由は、SDGsが「遠い世界のできごとで、自分と関係がない」と感じてしまいがちだからだと、ぼくは考えています。

SDGsは、国連で決められた人類の17個の目標。17個の目標をすべての人の力で達成していかないと、「地球は持続不可能になってしまう」というのです。でもこんな漠然としたことでは、自分に関係ないと感じてしまうのも無理ありません。

一方、それぞれの目標の説明として「女性と女児のエンパワーメントを図る」とか「生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク」などといわれたのでは……。

じつは、SDGsの17個の目標というのは、かんたんにいえば、「貧困をなくそう」とか「みんなが平等な社会にしよう」などといったものなのです。そう考えればいいのです。ところが、目標12の「つくる責任 つかう責任」といわれても？ わかりませんね。でも、それはいくらかでも調べることはできますよ。

## 英語のロゴマーク

1～17の目標番号



ここに記された言葉は、1～17個の目標を短く表現した標語のようなもの。「テーマ」とよばれている。

## 日本語のロゴマーク

英語を訳したもの。ただし、直訳ではない。



英語を訳したもの。ただし、直訳ではない。

……何のテーマか一目でわかるように工夫されたイラスト。世界共通。

最近よく見かけるSDGsの17個のマークの中に書かれているのは、標語のような短い文（「テーマ」とよばれる）。みんなはまず、そのテーマの意味を理解してください。次に、17個のうち、自分がどれに興味があるかを考えてほしい！ たとえば、世界の飢餓の問題に関心があるとか、「女性差別はおかしい」とか、「自分たちと同じ年ごろの子どもが働かされているなんておかしい」というようにです。

いま、SDGsに関係する本がたくさん出版されています。インターネットをつかえばいくらかでも情報が出てきます。みんなは、それらをつかって自分の興味・関心のものを調べることができます。「つくる責任 つかう責任」がどういふことを調べてください。もちろん、大人の人に聞いてもいいですよ。学校でも、自らが人と対話して、より深く学ぶといった学習をやっていくことを進めています。みんながSDGsについて自発的に積極的に学習するのはとてもよいことなのです。ズバリ、これらがみんなの「できること」です。

## 国連と国連ファミリーとSDGsの関係は

**人類の** 目標というと、じつはずでに2000年の国連の場で、21世紀の国際社会がめざす目標が、「ミレニアム開発目標（MDGs）」としてつくられていました。その後、そのMDGsはある程度達成されましたが、まだ不十分だったので、達成期限の2015年8月2日、国連総会で「持続可能な開発目標（SDGs）」の最終文書が合意されたのです。

これがつくられるまでには、相当な時間がかかりました。各国連機関が、17の目標とあわせて発表される「ターゲット（具体的目標）」に対し、それぞれの考えを反映させようとしたからでした（ターゲットは最終的に169個となった）。結果、SDGsは2015年9月の国連総会で正式に採択され、2016年から2030年の新たな人類の目標となったのです。

ぼくは、SDGsをつくるのに活躍した国連と国連ファミリーのことを、ちゃんと調べることが、SDGsを深く理解する方法だと考えています。でも、このことを指摘したSDGsの本がありません。だからぼくは、この本で国連と国連ファミリーとSDGsの関係などについて指摘しておきたいと考えました。国連と国連ファミリーの項目にSDGsのマークを記したのは、そのためです。





# 国連児童基金(ユニセフ)

ユニセフ  
**UNICEF** (United Nations International Children's Emergency Fund)



アタリとして受け取り  
解像度は OK



設立 1946年

本部 アメリカ・ニューヨーク

加盟国 193 (国連加盟国)

目的 食糧難に苦しむ子どもを救済し、子どもの権利を保護すること。

## できるまでの背景

第二次世界大戦後、戦争で親をなくしたり、住む家や食べ物がなく、飢餓や病気に苦しんだりする子どもたちが、世界じゅうに数えきれないほどいた。そうした子どもたちを救うために、1946年12月につくられた国連機関が、国連国際児童緊急基金\*だ。英語の頭文字を読んで「ユニセフ (UNICEF)」といわれた。

ユニセフは当初3年で活動を終える予定だったが、3年が終わっても貧困や飢餓に直面する子どもがいることから、活動期間を延長。さらに1953年、あらためて期限のない常設機関として生まれかわり、名称も「国連児童基金 (United Nations Children's Fund)」に変更。しかし、すでに多くの人のびとに親しまれていた「ユニセフ」というよび名は残すことになった。

\* United Nations International Children's Emergency Fund

## ユニセフに力をつくした女性

1953年、当時のアメリカ大統領夫人で国連のアメリカ代表エレノア・ルーズベルトの次のうったえが、ユニセフを常設機関として存続させるきっかけとなったといわれている。

「今日、世界には15歳未満の子どもたちが約9億人います。そのうちの5億人は貧困のなかに生まれ、死んでいます。彼らのために活動しているただひとつの組織が、ユニセフです。彼らのためになることを現実にしようとするなら、それはユニセフが常設機関となる以外にはありません」。

また、日本人にも、ユニセフの活動に大きな力をあえた人がいる。タレント・女優の黒柳徹子は、1984年のユニセフ親善大使就任以来、2021年までにのべ40か国をおとずれ、子どもたちの現状を世界に伝え、ユニセフの活動への理解と支援をよびかけつづけている。

## どんな活動をしているの？

世界には、食べ物がなかったり、病気やけがをしても医者にもてもらえなかったり、学校に通えなかったりする子どもたちが数えきれないほどたくさんいる。また、小さいときから働かなければ生きていけない子どもや、戦争のせいで、家族が死んだり、行方がわからなかったりしてひとりぼっちでくらしている子どもたちもいる。

ユニセフは、このような子どもたちを含めてすべての子どもたちが、「子どもの権利条約」にうたわれた権利を自分のものにできるように、さまざまな活動をしている。

なお、子どもの権利条約は、子どもの基本的人権を国際的に保証するための条約のこと。ユニセフもその草案づくりに参加し、1989年の国連総会で採択された。



2019年子どもの権利条約ができて30年の節目となる2019年に、条約の内容や大切さをより広く伝えることを目的にユニセフがつくったポスター。

## ユニセフの主な活動

**健康と栄養** 保健センターをつくり、予防接種を受けさせ、いつでも薬がつかえるようにする。安心して子どもがうめるように、助産師を育てる。エイズについての知識を、子どもたちに教える、など。

**教育** 学校を建てたり古い校舎を建てなおしたりする。文房具を送る。質の高い先生を養成する、など。

**水と衛生** 村の近くに井戸をつくり、安全な水を確保する。トイレをつくる。衛生的な生活について、子どもたちに指導する、など。

**働く子どもたち** 貧困のために働かなくてはならない子どもたちが学校に通えるように支援する。また、将来やくに立つ仕事につけるよう職業訓練をする。路上生活をする子ども（ストリートチルドレン）のために寝泊まりできる施設をつくる、など。

**緊急支援** 自然災害や戦争にまきこまれ、難民となった子どもたちに食べ物や水、薬、毛布などをとどける。戦争や災害でおそろしい体験をした子どもたちの心のケアをする。

こうしたユニセフの活動は、世界じゅうから高く評価され、1965年には、ノーベル平和賞がおくられた。

## 日本とユニセフ

ユニセフの活動資金は、個人・企業・団体からの募金や各国政府からの拠出金だ。日本政府も多額のお金を出している。そんな日本も、第二次世界大戦で敗戦した直後は、ユニセフから支援を受ける側だった。1949年から1964年まで、日本は学校給食用の脱脂粉乳\*や薬、服の原料となる綿などの援助をユニセフから受けた。

\*牛乳から乳脂肪分を取りのぞき、乾燥させて粉にしたもの。長期保存が可能で栄養価が高い。水にとかして飲む。